

報道機関各位
(埼玉県政記者クラブ、さいたま市記者クラブ)

日本赤十字社埼玉県支部
令和7年1月22日

被災者と支援者に心身の安心を 救護員を対象に「こころのケア研修」を実施します

日本赤十字社埼玉県支部（支部長：大野元裕埼玉県知事）は、1月29日（水）当支部を会場として、災害時に救護活動を行う救護員（赤十字職員）を対象とした「こころのケア研修」を実施します。

自然災害が頻発化、激甚化する中、“被災者”と“支援者”が受ける心理的影響とケアの重要性について理解を深めるとともに、こころのケア活動を適切に実施できる救護員を育成する狙いです。

研修では、座学で理解を深め、グループディスカッションやロールプレイなどの演習を通じて実践力を身に付けます。

今回は、「令和6年能登半島地震災害」で発災直後から現地で医療救護活動を行った職員も受講する予定です。

メモ（こころのケアの始まりと現在）

日赤では、30年前の阪神・淡路大震災を契機に1997年「こころのケアの手引き」を作成し、2000年の有珠山噴火災害で初めて体系的なこころのケア活動を展開しました。

令和6年能登半島地震災害では、当支部から専門チームを石川県輪島市に派遣し、長期にわたる活動でストレスをかかえる“支援者”のケアにあたりました。



令和6年能登半島地震災害における
こころのケア活動の様子



■ 概要

【日 時】 令和7年1月29日（水）9：30～16：35※一部のみのご取材も可能です

【場 所】 日本赤十字社埼玉県支部（さいたま市浦和区岸町3-17-1）

【受講者】 さいたま赤十字病院（医師・看護師・助産師・薬剤師ほか）、
埼玉県赤十字血液センター、当支部の職員 計30名

【講 師】 日本赤十字社こころのケア指導者（職員）

【内 容】 10：05～10：45	災害時のストレス反応	10：55～12：15	被災者へのこころのケア
13：15～13：50	こころのケアの流れと実際	13：55～15：25	こころのケアの実践
15：35～16：10	セルフケア	16：10～16：35	まとめ・効果測定・閉会

■ 取材について

ご取材いただける場合は、**1月28日（火）16時まで**に裏面「取材連絡票」の送付をお願いします。

【連絡・問合せ先】

日本赤十字社埼玉県支部 総務部 総務課 若佐

広報担当者連絡先：090-7255-1766 FAX：048-834-1520 E-mail：koho@saitama.jrc.or.jp

取材連絡票

FAX : 048-834-1520

取材案件名	日赤こころのケア研修会
御社名	
部署名	
担当者名	
連絡先 ※今後当社から取材関連のご連絡をさせていただきます	TEL : e-mail :
媒体名	
取材目的・ご希望	
放送・発行予定日	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 未定
スタッフ数・機材	(<input type="checkbox"/> ^人 カメラ ・ <input type="checkbox"/> スチール)
放送・発行内容の 転載可不可	<input type="checkbox"/> 可 ・ <input type="checkbox"/> 不可 ・ <input type="checkbox"/> 応相談
到着予定時間	